



## 緑に関するアンケート調査 結果概要

今後の深谷市の環境に配慮したまちづくりに活かしていくため、緑に関するアンケート調査を行いました。

本概要版ではアンケート調査結果のうち、市民のみなさんの意見の傾向を把握できる項目を特に取り上げて分析し、掲載しています。調査結果の全容については別資料「深谷市緑に関するアンケート調査結果」に掲載しています。

### アンケート概要

調査対象：深谷市在住の18歳以上、70歳未満の方2000名を無作為に抽出

調査方法：アンケート用紙及び回答用紙を同封した封筒を郵送し、回答用紙を返信郵便にて回収

調査期間：平成20年10月3日～10月20日

回答結果：回答数769（回収率38.5%）

設問について：アンケート調査では「緑に対する思い」、「身近な緑」、「深谷市の公園」、「深谷市の緑の将来像」、「深谷市の緑づくりに協力できること」の5つのテーマに関して1～4つの設問を設定し、市民のみなさんに回答していただきました。

調査の結果より、深谷市の市民の皆さんの傾向として以下のような意見があることがわかりました。

**緑に対する思いについて**、緑を心に残る風景として癒しを感じる存在と思う方が4割以上いる。

**身近な緑について**、緑が減少あるいは緑の質が落ちていると感じている方が5割以上いる。

**深谷市の公園について**、身近な公園が少ないあるいは公園自体の設備がさみしいとする方が6割以上いる。

**深谷市の緑の将来像について**、誰もが楽しめるような身近な緑を進めるべきとする方が3割以上いる。

**深谷市の緑づくりに協力できることについて**、気軽に緑化活動に参加したいと考える方が4割以上いる。

緑に関するアンケート調査についてのお問い合わせ

深谷市 都市整備部 都市計画課

TEL 048-574-6657

E-mail:toshi@city.fukaya.saitama.jp



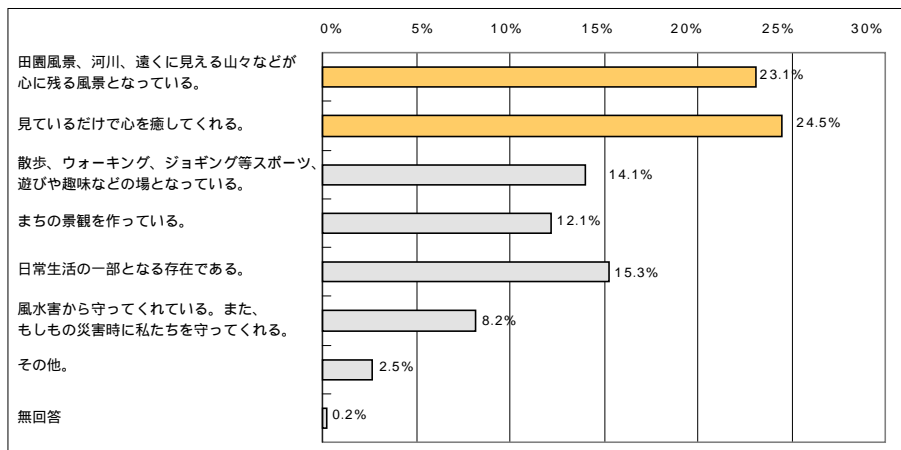
## 調査結果

### 緑に対する思いについて

緑は、田園、河川、遠くに見える山々など、心に残る風景として癒しを感じる存在であると思う人が多いことがわかりました。

その他の中には、二酸化炭素を削減し地球温暖化を抑制する存在であるとする意見が顕著に見られました。

#### Q あなたにとって緑はどのような存在ですか？（複数回答）

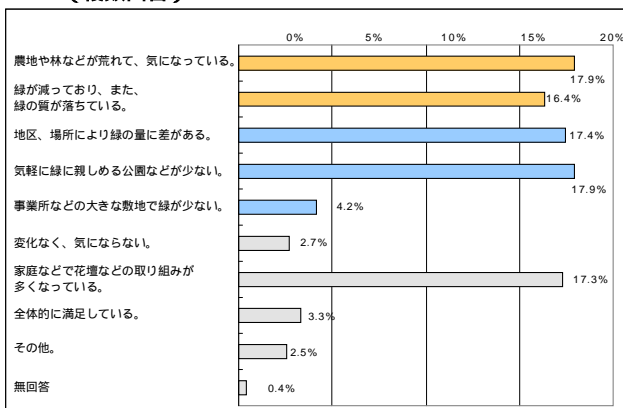


### 現在の身近な緑に対する感じ方について

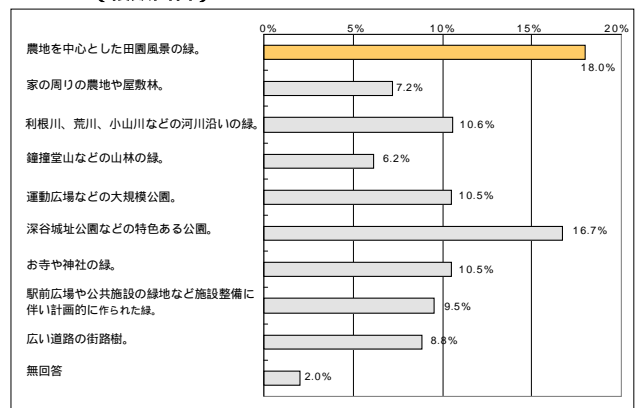
身近な緑の状況についての印象は、緑の質が落ち、量が減少していること、緑の量に地域差があると感じている人が多いことがわかりました。

また、身近な緑の中では、農地を中心とした田園風景の緑が気に入っている人が多くっており、具体的な場所としては、「仙元山公園及び周辺」、「唐沢川の緑」、「深谷グリーンパーク・パティオ」、「埼玉県農林公園」、「深谷城址公園」の人気の高いことがわかりました。

#### Q 身近な緑の状況についてどのような印象をお持ちですか？（複数回答）



#### Q 深谷市の緑で気に入っているところはどこですか？（複数回答）



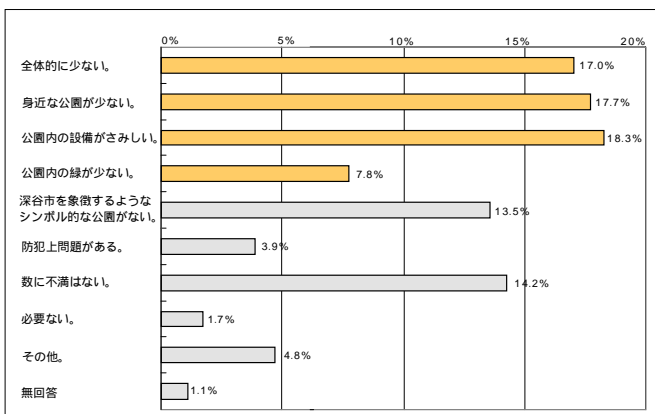


## 深谷市の公園について

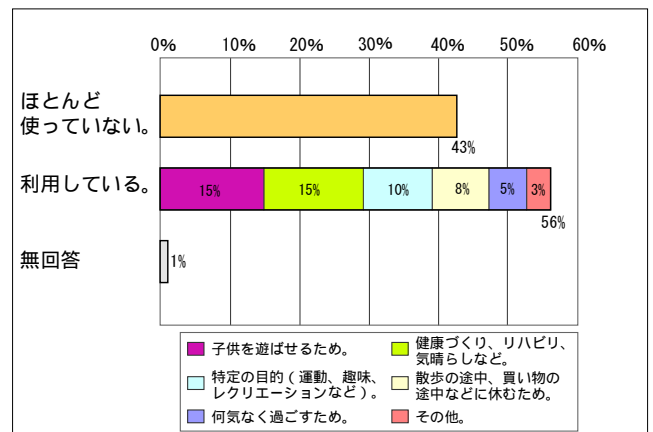
現在の公園は、全体的にそして身近な公園が少ないと考える回答と公園自体の緑や設備などがさみしいと考える回答を合わせると回答数の6割を超えることがわかりました。利用する状況については、4割以上の方が公園を日ごろほとんど使っていないことがわかり、その理由には、近くに公園がないという回答が多いことがわかりました。

そして今後は、環境学習ができる公園、多様な機能をもった公園、防災機能を備えた公園、身近な公園に対する要望が多いことがわかりました。

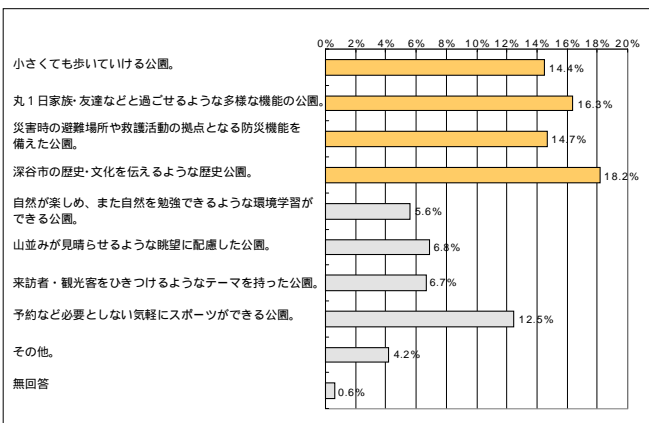
### Q 現在の公園の量・質についてどのようにお考えですか？ (複数回答)



### Q 公園をあなたは日ごろどのように利用していますか？ (複数回答)



### Q 今後どのような公園が増えていけばいいと思いますか？ (複数回答)



### 【要望の多い公園の例】



小さくても歩いていける公園  
(写真: 深谷市内の街区公園)



多様な機能の公園  
(写真: 深谷グリーンパーク)



防災機能を備えた公園  
(写真: 地下式非常用屋外トイレ(千葉県))



環境学習ができる公園  
(写真: ほたるの里公園)

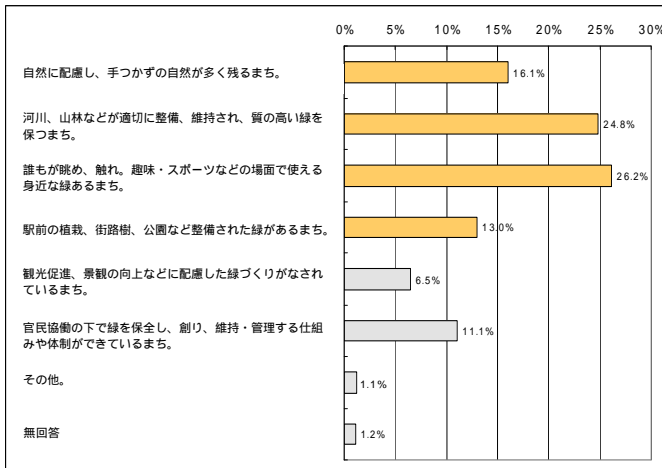


## 深谷市の緑の将来像について

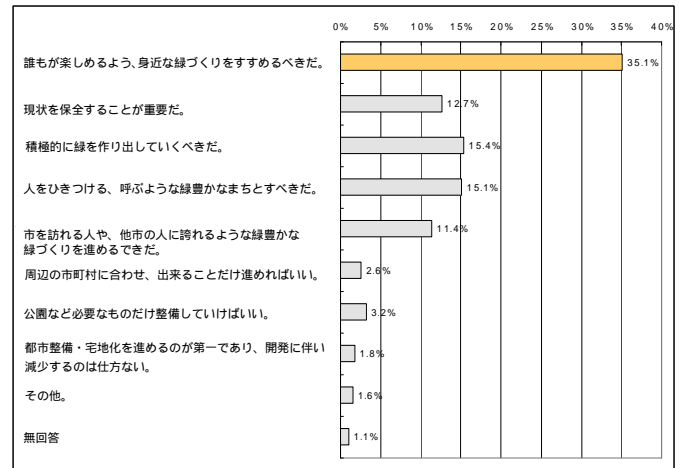
深谷市の将来的な緑は、適切に維持された河川や山林などをふくむ質の高い自然の緑と街路樹や公園などの身近な緑であると共感する人が多く、あるべき姿については、身近な緑づくりを進めるべきだと考える人が多いことがわかりました。

また、緑を創出するためには、遊休地の積極的な活用や、住民一人一人がつくる地域緑化の推進、公共事業と併せた官民協働による緑化をすすめるべきと考える人が多いことがわかりました。

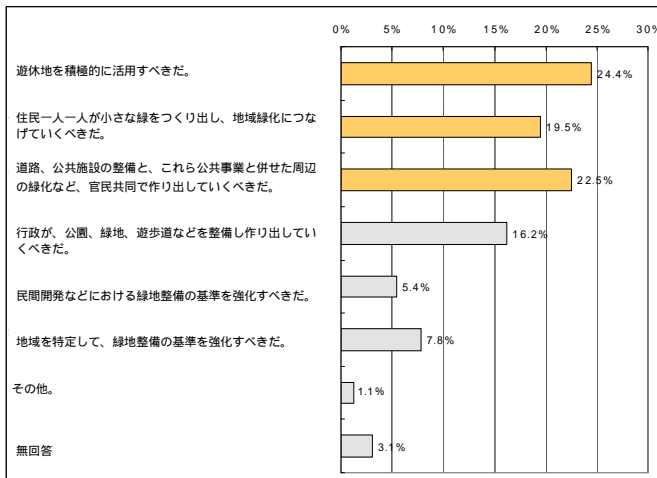
Q 深谷市の緑の将来像としてあなたが共感できるものはどれですか？（複数回答）



Q 深谷市にとって緑はどのようにあるべきでしょうか？（複数回答）



Q 緑をつくりだすためには、どのような方法が望ましいでしょうか？（複数回答）



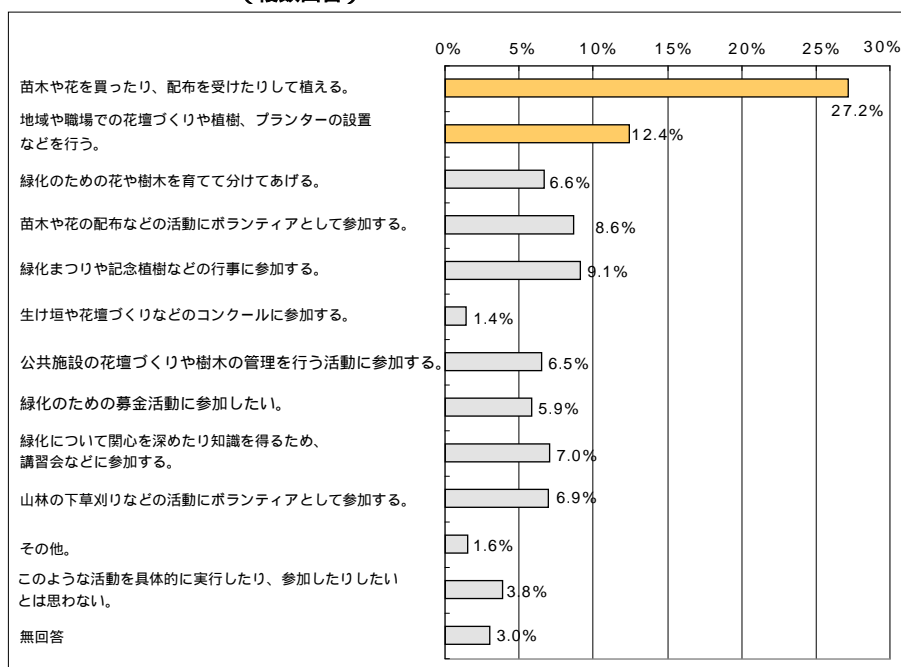


### 深谷市の緑づくりに協力できることについて

緑化活動が行われた場合には、苗木や花を買ったり配布を受けたり、地域の花壇づくりを行うなど、気軽にできる緑化活動に参加したいと考える人が多く、参加したいとは思わない人はごくわずかでした。

また、緑づくりを進めるうえでは、緑化活動を進める仲間の存在など、参加しやすい環境づくりが必要であると考えられる人が多いことがわかりました。

Q 次のような緑化活動が行われた場合、参加したいと思いますか？  
(複数回答)



Q あなたが緑づくりを進めるうえで必要とされる事項は何ですか？  
(複数回答)

